

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

## 検見川 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	⑥	・要支援者等への見守り活動・安否確認活動を実施したり、緊急通報装置や安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。 ・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組みます。また、その充実・強化を図ります。
取組内容 (5カ年の目標)	地域の高齢化が進んでいることから、住民同士による高齢者を見守る体制を構築し、高齢者が安心して暮らせる街づくりに努める。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	検見川地区部会(第201地区民生委員・児童委員協議会)	
現状と課題	・個々の活動はあるものの、状況の把握ができていない。 ・地区部会の活動として組織的に開始したい。	
年次目標	令和4年度	・他地域の活動等を調査し、実施に向けた検討を行う。
	令和5年度	・見守り対象者に状況調査を行う。
	中間見直し	
	令和6年度	・協力者を募り、見守り方法など、実施に向けた検討を行う。
	令和7年度	・見守り活動を開始する。
	令和8年度	・見守り活動を継続する。
令和4年度の実績	花見川区内で見守り活動を行っている団体が集まり開催された「見守り活動団体情報交換会・交流会」に参加し、他地区の活動内容や課題・問題点などを学んだ。	
今後の課題と方針	見守りを必要とされている方や地域のニーズの調査を行う。	
令和4年度達成状況の自己評価	△	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 検見川 地区部会エリア

基本方針	3	地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり
取り組みの方向性	(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成
具体的な取り組み	⑪	・地域での声かけをしたり、地域でのイベント、広報紙(地区部会だより)、区ボランティアセンターを活用し、ボランティアの発掘や育成に努めます。
取組内容 (5カ年の目標)	地区部会の広報紙や区ボランティアセンターを通じて幅広く声かけを行い、ボランティアの発掘・育成に努める。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	検見川地区部会	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代の方は、ボランティア活動を行う余裕をなかなか持てない。</li> <li>・高齢になっても働いている方も多く、協力を得られない。</li> </ul>	
年次目標	令和4年度	広報紙や区ボランティアセンターを通じてボランティア募集活動に努める。
	令和5年度	広報紙や区ボランティアセンターを通じてボランティア募集活動に努める。
	中間見直し	
	令和6年度	広報紙や区ボランティアセンターを通じてボランティア募集活動に努める。
	令和7年度	広報紙や区ボランティアセンターを通じてボランティア募集活動に努める。
	令和8年度	広報紙や区ボランティアセンターを通じてボランティア募集活動に努める。
令和4年度の実績	今年度より、エリア内にある地域密着型通所介護事業所「かなで plus 検見川」の運営推進会議に参加し、視野を広げることに努めた。そのほかは、コロナ禍による活動の自粛が続いており、活動ができなかった。	
今後の課題と方針	まずは、地区部会活動の再開を目指し、再開できた折には、活動の中での声掛けや広報紙等による広報活動に努める。	
令和4年度達成状況の自己評価	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 検見川 地区部会エリア

基本方針	3	地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり
取り組みの方向性	(7)	学習の場や体験の場の創出
具体的な取り組み	⑬	・地域住民や子どもに地域の魅力や福祉をテーマとした研修・講座を開催します。 ・地域住民や子どもに地域福祉活動の体験の場を提供します。
取組内容 (5カ年の目標)	地域住民や子どもたちを対象にしたボランティア養成講座を開催し、ボランティアの増員に努める。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	検見川地区部会	
現状と課題	・検見川神社を中心として町内自治会が動いている傾向があり、地区部会への協力を得ることが難しい状況がある。 ・コロナの影響で地区部会活動が停滞しており、担い手確保の課題がある。	
年次目標	令和4年度	・講座の内容、参加者や講師の選定等、講座開催の準備を進める。
	令和5年度	・講座の内容、参加者や講師の選定等、講座開催の準備を進める。
	中間見直し	
	令和6年度	・ボランティア養成講座を開催する。
	令和7年度	・ボランティア養成講座を継続開催する。
	令和8年度	・ボランティア養成講座を継続開催する。

令和4年度の実績	令和4年度は、コロナ禍による活動の自粛が続いており、活動ができなかった。	
今後の課題と方針	活動の自粛が3年間続いているため、まずは今いるスタッフの中で、活動に向けた気運を高めていく。	
令和4年度達成状況の自己評価	×	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 花園 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	④	・隣近所や地域において、あいさつ・声かけによる気配り・心配りを行い、顔の見える関係づくりに努めます。
取組内容 (5カ年の目標)	「花園おせっかい」の活動継続 ・おせっかい活動の継続実施 ・事例を紹介するなど、普及・啓発活動に努める(地区部会だよりの活用、リーフレット、ポスター)。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	花園地区部会(町内自治会、花園地区町内自治会連合会、花園中学校区町内自治会連絡協議会、第202地区民生委員・児童委員協議会、花園地区地域運営委員会)	
現状と課題	・「花園おせっかい」の活動は、コロナの影響により、多くの地域で、活動が自粛となり、リーフレット、ポスター、地区部会だより等による啓発活動を行うに留まっている。 ・花園文化会では、支え合い・見守り活動で成果が見られた。	
年次目標	令和4年度	・「花園おせっかい」の活動継続 ・普及・啓発活動の推進(地区部会だより、リーフレット、ポスター)
	令和5年度	・「花園おせっかい」の活動継続 ・普及・啓発活動の推進(地区部会だより、リーフレット、ポスター)
	中間見直し	
	令和6年度	・「花園おせっかい」の活動継続 ・普及・啓発活動の推進(地区部会だより、リーフレット、ポスター)
	令和7年度	・「花園おせっかい」の活動継続 ・普及・啓発活動の推進(地区部会だより、リーフレット、ポスター)
	令和8年度	・「花園おせっかい」の活動継続 ・普及・啓発活動の推進(地区部会だより、リーフレット、ポスター)

令和4年度の実績	・「花園おせっかい」は、チラシ・ポスターを計画通り発行した。	
今後の課題と方針	・向こう三軒両隣の発展系としての助け合い	
令和4年度達成状況の自己評価	○	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 花園 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	④	・隣近所や地域において、あいさつ・声かけによる気配り・心配りを行い、顔の見える関係づくりに努めます。
取組内容 (5カ年の目標)	花園地区部会の伝統的な活動を継続実施し、地域の住民同士の顔の見える関係づくりに努める。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	花園地区部会(町内自治会、花園地区町内自治会連合会、花園中学校校区町内自治会連絡協議会、第202地区民生委員・児童委員協議会、花園地区地域運営委員会)	
現状と課題	・コロナ禍のため、「敬老会」「親子の集い」「ふれあい食事会」は中止、「いきいきサロン」「子育てサロン」も影響を受けている。また、「花園ハスマつり」「体育祭」「バス旅行」、その他の地域行事も中止になり、最も大切な地域とのふれあいが大幅に減少してしまっているが、コロナの収束の兆しも見えはじめ、日常を取り戻しつつあると考える。これを機にコロナ後の方策に転換することが求められる。	
年次目標	令和4年度	①高齢者福祉:敬老会・ふれあい食事会 ②児童母子:子育てサロン・親子の集い(音楽会など) ③健康:公園清掃・グラウンドゴルフ ④ボランティア:いきいきサロン ⑤福祉ネット:啓発ポスター・チラシの作成・見守り新報情報 ⑥広報:地区部会だより ⑦重点取組項目:「花園おせっかい」「避難所に関する情報交換」イベントの再開対応 ⑧防災訓練の実施:各避難所の避難所開設・運営訓練 <span style="float: right;">①～⑧を実施する。</span>
	令和5年度	①高齢者福祉:敬老会・ふれあい食事会 ②児童母子:子育てサロン・親子の集い(音楽会など) ③健康:公園清掃・グラウンドゴルフ ④ボランティア:いきいきサロン ⑤福祉ネット:啓発ポスター・チラシの作成・見守り新報情報 ⑥広報:地区部会だより ⑦重点取組項目:「花園おせっかい」「避難所に関する情報交換」イベントの再開対応 ⑧防災訓練の実施:各避難所の避難所開設・運営訓練 <span style="float: right;">①～⑧を実施する。</span>
	中間見直し	
	令和6年度	①高齢者福祉:敬老会・ふれあい食事会 ②児童母子:子育てサロン・親子の集い(音楽会など) ③健康:公園清掃・グラウンドゴルフ ④ボランティア:いきいきサロン ⑤福祉ネット:啓発ポスター・チラシの作成・見守り新報情報 ⑥広報:地区部会だより ⑦重点取組項目:「花園おせっかい」「避難所に関する情報交換」イベントの再開対応 ⑧防災訓練の実施:各避難所の避難所開設・運営訓練 <span style="float: right;">①～⑧を実施する。</span>
	令和7年度	①高齢者福祉:敬老会・ふれあい食事会 ②児童母子:子育てサロン・親子の集い(音楽会など) ③健康:公園清掃・グラウンドゴルフ ④ボランティア:いきいきサロン ⑤福祉ネット:啓発ポスター・チラシの作成・見守り新報情報 ⑥広報:地区部会だより ⑦重点取組項目:「花園おせっかい」「避難所に関する情報交換」イベントの再開対応 ⑧防災訓練の実施:各避難所の避難所開設・運営訓練 <span style="float: right;">①～⑧を実施する。</span>
	令和8年度	①高齢者福祉:敬老会・ふれあい食事会 ②児童母子:子育てサロン・親子の集い(音楽会など) ③健康:公園清掃・グラウンドゴルフ ④ボランティア:いきいきサロン ⑤福祉ネット:啓発ポスター・チラシの作成・見守り新報情報 ⑥広報:地区部会だより ⑦重点取組項目:「花園おせっかい」「避難所に関する情報交換」イベントの再開対応 ⑧防災訓練の実施:各避難所の避難所開設・運営訓練 <span style="float: right;">①～⑧を実施する。</span>

令和4年度の実績	①高齢者福祉:敬老会はコロナを考慮して中止したが、75歳以上の該当者全員に記念品を贈った。配布は202地区民児協民生委員による手渡しとし、好評を得た。ふれあい食事会は、2回とも中止とした。 ②児童母子:子育てサロンは、自粛で回数は減少したが、継続実施した。親子の集い:音楽会はコロナ禍のため、中止とした。 ③健康:公園清掃・グラウンドゴルフは、回数は減少したが、継続実施した。また、回覧による会員募集を実施した。 ④ボランティア:いきいきサロンはコロナ禍の下でも継続して実施している。 ⑤福祉ネット:向こう三軒両隣の声掛け(おせっかいシリーズの発行)、防犯対策について、特殊詐欺啓発等のポスターを発行した。 ⑥広報:地区部会だよりを発行した。 ⑦重点取組項目:「花園おせっかい」は、チラシ・ポスターを計画どおり発行した。 ⑧「避難所に関する情報交換」:避難所ごとに、避難所開設運営訓練が行われた。
今後の課題と方針	花園地区部会の伝統的な事業の再開を目指す。 ・敬老会の完全実施・ふれあい食事会の実施・親子の集い、音楽会、イベントの実施・子育てサロンの拡充 ・公園清掃の継続、グラウンドゴルフの拡充 重点項目の実施 ・花園おせっかい:向こう三軒両隣の発展系としての助け合い ・避難所運営マニュアルの理解と対応(社協の持ち場、立場等) ・コロナ禍により制約されてきた活動の再開準備

令和4年度達成状況の自己評価	○	◎:年度目標以上のものが達成できた場合
		○:年度目標が概ね達成できた場合
		△:年度目標の一部が達成できた場合
		×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 花園 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	⑦	・災害時要支援者支援体制を構築します。そして、体制構築後は、体制の充実・強化を図り、研修会や訓練などを実施します。
取組内容 (5カ年の目標)	「花園おせっかい」活動を継続実施しながら、災害時の安否確認体制の整備に努める。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	花園地区部会(町内自治会、花園地区町内自治会連合会、花園中学校区町内自治会連絡協議会、第202地区民生委員・児童委員協議会、花園地区地域運営委員会、各避難所運営委員会)	
現状と課題	・各自治会では、防災マップを作成し、災害時の安否確認訓練や避難所の開設訓練も全ての避難所で行われているが、避難システムはそれぞれの自治会の判断によっている。	
年次目標	令和4年度	「花園おせっかい」の活動を継続実施しながら、他地域の活動等の調査・研究を行う。
	令和5年度	「花園おせっかい」の活動を継続実施しながら、先進事例の紹介や、他地域の活動等の調査・研究を行う。
	中間見直し	
	令和6年度	「花園おせっかい」の活動を継続実施しながら、先進事例の紹介や、他地域の活動等の調査・研究を行う。
	令和7年度	「花園おせっかい」の活動を継続実施しながら、先進事例の紹介や、他地域の活動等の調査・研究を行う。
	令和8年度	「花園おせっかい」の活動を継続実施しながら、先進事例の紹介や、他地域の活動等の調査・研究を行う。

令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉ネット:おせっかいシリーズの防犯対策として、特殊詐欺啓発ポスターを発行した。</li> <li>・重点取組項目「花園おせっかい」:チラシ・ポスターをシリーズ化して配布した。</li> <li>・「避難所に関する情報交換」:きずなを深める手段として、おせっかいルートを活用。</li> </ul>	
今後の課題と方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花園地区部会の伝統的な事業(敬老会、ふれあい食事会、親子の集い 音楽会、子育てサロンなど)の機会を捉えて「花園おせっかい」の更なる浸透を図る。</li> <li>・花園おせっかい:向こう三軒両隣の発展系としての助け合い</li> <li>・避難所の運営マニュアルの理解と対応(災害時+感染症蔓延時など)</li> <li>・情報の把握・伝達の向上</li> </ul>	
令和4年度達成状況の自己評価	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 花園 地区部会エリア

基本方針	4	安全・安心なまちづくり
取り組みの方向性	(9)	身近な災害への備え
具体的な取り組み	⑮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を実施します。</li> <li>・避難所開設・運営訓練を実施します。</li> <li>・新型コロナウイルス等感染症に対応した避難所運営委員会マニュアルの見直しを行います。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)	避難所に関する情報交換を関係機関と実施し、社協の持ち場、立場、対応方針、訓練参加について検討を行う。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	花園地区部会(各避難所運営委員会、町内自治会、花園地区町内自治会連合会、花園中学校区町内自治会連絡協議会、第202地区民生委員・児童委員協議会、花園地区地域運営委員会)	
現状と課題	各避難所では避難所運営委員会により、防災マニュアルや防災マップを活用して、避難所開設訓練・運営訓練を行っている。また、災害時の安否確認、分散避難、食料支援などは避難所ごとの条件が異なり、各避難システムはそれぞれの自治会の判断によっていて、多少の違いがみられる。地域とボランティアへの更なる協力と情報提供を行いたい。	
年次目標	令和4年度	・社協の立場、対応方針、訓練参加などについて関係機関と情報交換を行う。
	令和5年度	・社協の関わり方を具体的に研究し、先進事例の紹介や、他地域の活動等の調査・研究を行う。
	中間見直し	
	令和6年度	・関係機関との協業により、災害発生に備えた体制づくりを行う。
	令和7年度	・関係機関との協業により、災害発生に備えた体制づくりを行う。
	令和8年度	・関係機関との協業により、災害発生に備えた体制づくりを行う。
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所ごとに、避難所開設運営訓練が行われた。</li> <li>・福祉ネット:おせっかいシリーズの防犯対策として、特殊詐欺対応の啓発ポスターを発行した。</li> <li>・重点取組項目「花園おせっかい」:チラシ・ポスターをシリーズ化して配布した。</li> <li>・「避難所における情報交換」:きずなを深める手段として、おせっかいルートを活用。</li> </ul>	
今後の課題と方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所運営マニュアルの理解と対応(災害時+感染症蔓延時など)</li> <li>・社協の持ち場・立場からの協力</li> </ul>	
令和4年度達成状況の自己評価	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 朝日ヶ丘 地区部会エリア

基本方針	1	心身の健康と交流の場づくり
取り組みの方向性	(2)	交流の場づくり
具体的な取り組み	③	・世代の違いや障害の有無を超えた交流やイベントなどを実施します。 ・高齢者施設や障害者施設などでのボランティア体験や施設主催のイベントへ参画します。
取組内容 (5カ年の目標)	ふれあい食事会、ふれあい喫茶、障害者バス旅行、いきいきサロン、子育てサロン、健康体操など、交流の場やイベントを開催する。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	朝日ヶ丘地区部会	
現状と課題	・コロナ禍により、過去2年度はほとんど全ての活動を自粛せざるを得なかった。その中で、令和4年度3月に障害者を対象とする「ふれあいコンサート」を実施し、外出する機会が少ない障害者の方々に、音楽を聴く楽しみを提供することができた。 ・地域の高齢化の状況に対応するため、介護予防活動に重点的に取り組む必要がある。	
年次目標	令和4年度	今後のコロナの動向によって活動全般を復活できるか否かは定かではないが、「ふれあいコンサート」は、継続実施したい。
	令和5年度	ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、ふれあいコンサート、障害者バス旅行、いきいきサロン、子育てサロン、健康体操など、交流と介護予防活動に重点を置いて実施。
	中間見直し	
	令和6年度	ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、ふれあいコンサート、障害者バス旅行、いきいきサロン、子育てサロン、健康体操など、交流と介護予防活動に重点を置いて実施。
	令和7年度	ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、ふれあいコンサート、障害者バス旅行、いきいきサロン、子育てサロン、健康体操など、交流と介護予防活動に重点を置いて実施。
	令和8年度	ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、ふれあいコンサート、障害者バス旅行、いきいきサロン、子育てサロン、健康体操など、交流と介護予防活動に重点を置いて実施。

令和4年度の実績	今年度は、コロナ禍で2年間中止となっていた「障害者バス旅行(「海ほたる」、パン工房「八天堂きさらづ」)」を再開することができた。また、健康体操3回と障害者バス旅行の代替事業として始めた「ふれあいコンサート」も実施することができた。	
今後の課題と方針	コロナで中止が続いている活動の再開を目指す。	
令和4年度達成状況の自己評価	○	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 朝日ヶ丘 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(4)	地域の機関・団体等との連携
具体的な取り組み	⑩	・地域福祉活動にあたり、民生委員、町内自治会、あんしんケアセンター、障害者基幹相談支援センター、学校、社会福祉事業者、企業、ボランティア団体、NPO、企業など地域の多様な主体との連携強化を図ります。
取組内容 (5カ年の目標)		地区内町内自治会、あんしんケアセンター、小中学校、公民館、社会福祉事業者との連携を維持・強化し、支え合い・助け合いのできる地域社会づくりに努める。
活動主体 (連携、協働機関・団体)		朝日ヶ丘地区部会(地区内町内自治会、あんしんケアセンター、小中学校、公民館、社会福祉事業者など)
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍に伴い、関係各団体との協議会などの相談の場が開催できなくなっており、積極的な連携ができなくなっている。</li> <li>・地区部会の広報紙で「お困りごとがあったら、何でも気軽にご相談ください。」というメッセージを出しているが反応は乏しい(現在まで1件)。昨年度は、友愛訪問の希望者を募ったが、申し込みはなかった。</li> <li>・朝日ヶ丘中学校の空き教室を借りて、地区部会事務所を開設している。昨年度12月より校舎の改装により閉鎖されてきたが、本年度後半には再開の予定である。</li> <li>・地区内の高齢者福祉種別3施設とは、それぞれの運営懇談会を通して意見交換をしている。</li> <li>・地区内の開業医に協力を依頼し、健康に関する講演をさせていただいてきたが、コロナ禍で中段している。</li> </ul>
年次目標	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんしんケアセンターとの連携による講演会(「交流ふれあい広場」)を開催</li> <li>・消費生活センターとの連携による講演会(「交流ふれあい広場」)を開催</li> </ul>
	令和5年度	アフターコロナ、もしくはウィズコロナの状況に合わせて、従来の活動の復活、再生を図る。
	中間見直し	
	令和6年度	アフターコロナ、もしくはウィズコロナの状況に合わせて、従来の活動の復活、再生を図る。
	令和7年度	アフターコロナ、もしくはウィズコロナの状況に合わせて、従来の活動の復活、再生を図る。当地区部会は、令和8年度に創立30周年を迎える。これまでの会の活動を振り返るとともに、多大な協力を受けてきた周囲の関係機関への感謝を示す意味でも、記念式典と事後の記念誌の編集・発行に向けて、取り組みを開始する。
	令和8年度	アフターコロナ、もしくはウィズコロナの状況に合わせて、従来の活動の復活、再生を図る。創立30周年に際し、これまでの会の活動を振り返るとともに、多大な協力を受けてきた周囲の各機関への感謝を示す意味でも、記念の式典を行い、また次年度以降の記念誌の発行に向けて、資料収集と編集に取り組む。

令和4年度の実績	あんしんケアセンターと連携し、「健康年齢」についての講演会を実施、約30名の方々に参加いただいた。また、消費生活センターと連携し、「身近なところから SDGs」と「悪質商法の手口」についての講演会を実施、約30名の方々に参加いただいた。	
今後の課題と方針	アフターコロナ、もしくはウィズコロナの状況に合わせて、従来の活動の復活、再生を図る。	
令和4年度達成状況の自己評価	○	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 朝日ヶ丘 地区部会エリア

基本方針	3	地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり
取り組みの方向性	(6)	地域福祉情報の発信
具体的な取り組み	⑫	・広報紙の発行やホームページ、SNS、集いの場、イベントなどでの地区部会活動や地域福祉情報を発信します。
取組内容 (5カ年の目標)		・広報紙「ふれあい」の継続発行 ・SNS を用いた広報活動の検討と実施
活動主体 (連携、協働機関・団体)		朝日ヶ丘地区部会 広報委員会(広報紙配布は管内各町内自治会に依頼)
現状と課題		<p>コロナ禍で社協の事業のほとんどが実施できず、報告すべきニュースが乏しいため、広報の発行回数が漸減してきた。しかし、逆に考えると、広報活動が社協と住民をつなぐ希少な活動となっている。そこで、従来の報告型から啓発型の記事に内容を変えて、発行回数を増やすべく活動をしている。</p> <p>「広報ふれあい」は、町内自治会を通して、ほぼ全戸配布の 4,400 部を発行しているが、どれだけの家庭で読まれているかは不明である。また、高齢や低所得などの事情で、町内自治会から脱会することにより、広報紙が届かない家庭も増えており、支援が必要なところに情報が届いていないのではないかと問題が生じている。</p>
年次目標	令和4年度	コロナ禍で、広報活動が社協と住民をつなぐ希少な活動であることから、従来の報告型から啓発型の記事に内容を変えて、発行回数を増やすべく、活動する。
	令和5年度	これまでの広報紙発行を続けながら、SNS を通しての広報活動の方策を検討する。(他地区の事例調査、広報に関する住民、関連団体の意向調査など)
	中間見直し	
	令和6年度	広報紙発行を続けながら、広報活動を SNS で行うべく、体制を整える。
	令和7年度	広報紙と SNS による情報発信の実施 令和8年度の当地区部会の創立30周年に備えて、記念事業の準備を開始する。
	令和8年度	広報紙と SNS による情報発信の実施 令和8年度の当地区部会の創立30周年に際し、記念事業を行うとともに、記念誌の発行準備を行う。

令和4年度の実績	<p>広報紙「ふれあい」を年4回発行(1回は今月発行予定)し、地区部会の活動紹介や、介護予防のための情報等の発信を行った。昨年度は、2回の発行であったが、今年度は4回発行することができた。</p>	
今後の課題と方針	<p>SNS を通しての広報活動の方策について検討を行う。</p>	
令和4年度達成状況の自己評価	○	<p>◎:年度目標以上のものが達成できた場合  ○:年度目標が概ね達成できた場合  △:年度目標の一部が達成できた場合  ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</p>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 犢橋 地区部会エリア

基本方針	1	心身の健康と交流の場づくり
取り組みの方向性	(1)	居場所・仲間づくり
具体的な取り組み	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロン、散歩クラブ、健康体操、ふれあい食事サービスなどを実施します。</li> <li>・子育てサロン、こども食堂、こどもカフェなどを実施します。</li> <li>・要支援者(認知症高齢者・要介護者・障害者)やその家族が集える場づくりを行います。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内自治会内で行う「いきいきサロン」「散歩クラブ」「シニア体操教室」を推進する。</li> <li>・「子育てサロン」の継続と「こども食堂」の再開及びこども食堂の代替事業として実施していた「フードパントリー」も継続実施を目指す。</li> <li>・要支援者向け支え合い事業を推進</li> </ul>
活動主体 (連携、協働機関・団体)		犢橋地区部会(犢橋中学校校区町内自治会連絡協議会、各町内自治会、地区民生委員・児童委員連絡協議会、青少年育成委員会、スポーツ振興会、その他その時々の内容に応じた関係機関)
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で中断している「こども食堂」の再開を図り、併せて「フードパントリー」も継続していきたい。</li> <li>・ふれあい3事業の参加グループを増やしていく。</li> <li>・コロナ禍を鑑みながら、地区部会としての行事を増やしていく。</li> </ul>
年次目標	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いきいきサロン」「散歩クラブ」「シニア体操教室」を継続実施する。</li> <li>・調理や食事を伴う行事に代わり、「フードパントリー」を継続する。</li> <li>・今できる行事をまず実施する。</li> </ul>
	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい3事業への参加グループの追加加入を図る。</li> <li>・いきいきプラザ等とタイアップした運動教室の開催やシニアリーダー体操を推進する。</li> <li>・落語会などの文化的なイベントを企画して、住民が気軽に集える場づくりを推進する。</li> </ul>
	中間見直し	
	令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こども食堂」を再開する。</li> <li>・こどもと高齢者が交流できる場をつくる(地区内数カ所に分けて)。</li> </ul>
	令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「流しそーめん」や「餅つき大会」、もしくはそれに代わる行事を開催する。</li> </ul>
	令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年間で実施してきたことの総括と発展を図る。</li> </ul>

令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい3事業(いきいきサロン、散歩クラブ、子育てサロン)は、コロナ禍でも継続実施することができた。</li> <li>・コロナ禍でこども食堂の開催が難しかったことから、フードパントリーを継続実施した。</li> <li>・犢橋地域福祉交流館にて、「落語会(5年ぶりの開催)」と「ポッチャ体験会」をセットで開催し、地域の方々に楽しんでいただけた。</li> </ul>
今後の課題と方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども食堂の再開</li> <li>・こどもと高齢者が集える交流の場の創出やイベントの開催</li> <li>・休止している活動の再開</li> </ul>
令和4年度達成状況の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### こてはし台中学校区 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者等への見守り活動・安否確認活動を実施したり、緊急通報装置や安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。</li> <li>・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組みます。また、その充実・強化を図ります。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り対象者の現状把握に努める。</li> <li>・緊急時の連絡体制の見直しに努める。</li> <li>・生活支援のニーズを把握し、必要な体制を構築する。</li> </ul>
活動主体 (連携、協働機関・団体)		こてはし台中学校区地区部会(町内自治会、第206地区民生委員・児童委員協議会)
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・75歳以上の独居者32人、75歳以上同士の2人世帯17世帯が見守り対象。</li> <li>・緊急時の連絡情報・体制の整備や、災害時の支援体制の整備を、町内自治会と共同で推進。</li> </ul>
年次目標	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り対象者の現状把握と対象者の見直しを継続して推進する。</li> <li>・対象者、担当者、地区部会間のコミュニケーションの手段として「見守りたより」を発行する。</li> </ul>
	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り対象者の増加に伴い、福祉活動推進員を見守り担当者に組み込んでいく。</li> <li>・緊急時の連絡体制の整備、災害時の支援体制の整備を町内自治会と共同で推進する。</li> <li>・生活支援のニーズを把握し、必要な体制を町内自治会と共に構築する。</li> </ul>
	中間見直し	
	令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の連絡体制の整備、災害時の支援体制の整備を町内自治会と共同で推進する。</li> <li>・生活支援のニーズを把握し、必要な体制を町内自治会と共に構築する。</li> </ul>
	令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の連絡体制の整備、災害時の支援体制の整備を町内自治会と共同で推進する。</li> <li>・生活支援のニーズを把握し、必要な体制を町内自治会と共に構築する。</li> </ul>
	令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の連絡体制の整備、災害時の支援体制の整備を町内自治会と共同で推進する。</li> <li>・生活支援のニーズを把握し、必要な体制を町内自治会と共に構築する。</li> </ul>
令和4年度の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者の現状見直しアンケートを実施した。</li> <li>・対象者が情報弱者に陥らないよう、「見守りたより」1、2号を発行した。</li> <li>・花見川区見守り活動団体情報交換会・交流会に参加し、他地域の活動把握や情報交換に努めた。</li> </ul>
今後の課題と方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の連絡方法、情報提供の体制整備を町内自治会と構築する。</li> <li>・元気なうちから、見守れるような体制づくりを検討する。</li> <li>・対象者と担当者、地域へ見守りたよりを通じて情報発信を強化する。また、支部単位での活動を強化していく。</li> </ul>
令和4年度達成状況の自己評価	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 幕張・武石 地区部会エリア

基本方針	1	心身の健康と交流の場づくり
取り組みの方向性	(1)	居場所・仲間づくり
具体的な取り組み	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロン、散歩クラブ、健康体操、ふれあい食事サービスなどを実施します。</li> <li>・子育てサロン、こども食堂、こどもカフェなどを実施します。</li> <li>・要支援者(認知症高齢者・要介護者・障害者)やその家族が集える場づくりを行います。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)	高齢者の居場所・仲間づくりのための「ふれあいいきいきサロン」、「ふれあい食事サービス」を実施する。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	幕張武石地区部会(幕張町六丁目町内会、武石町一丁目町内会、武石町二丁目町内会)	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の参加者が多く、会場(町内会館・公民館)まで来るのも困難になっている。</li> <li>・参加者が固定化されてきている。</li> <li>・運営ボランティアの確保が困難になってきている。</li> </ul>	
年次目標	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいいきいきサロンを月2回実施する。</li> <li>・ふれあい食事サービスを年4回実施する。</li> </ul>
	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいいきいきサロンを月2回実施するとともに、内容充実の検討を行う。</li> <li>・ふれあい食事サービスを年4回実施するとともに、実施方法(会食・配食等)の検討を行う。</li> </ul>
	中間見直し	
	令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいいきいきサロンを月2回実施する。</li> <li>・ふれあい食事サービスを年4回実施する。</li> </ul>
	令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいいきいきサロンを月2回実施する。</li> <li>・ふれあい食事サービスを年4回実施する。</li> </ul>
	令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいいきいきサロンを月2回実施する。</li> <li>・ふれあい食事サービスを年4回実施する。</li> </ul>
令和4年度の実績	「ふれあいいきいきサロン」は、月2回実施することができ、目標は達成されたが、「ふれあい食事サービス」については、コロナ禍の中、1回も実施することができなかった。	
今後の課題と方針	次年度は、「ふれあいいきいきサロン」を今年度同様、月2回実施するとともに、「ふれあい食事サービス」も、年4回実施する方向で検討する。ただし、6月の1回は、配食形式とし、2回目以降は会食も含め、開催形式を検討する。	
令和4年度達成状況の自己評価	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 幕張・武石 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	⑦	・災害時要支援者支援体制を構築します。そして、体制構築後は、体制の充実・強化を図り、研修会や訓練などを実施します。
取組内容 (5カ年の目標)	支え合い、助け合いのできる地域社会づくりのため、地区部会と町内自治会が協力し、要支援者の支援体制を構築する。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	幕張武石地区部会(幕張町六丁目町内会、武石町一丁目町内会、武石町二丁目町内会)	
現状と課題	町内自治会により、取り組み(支援体制)に差がある。	
年次目標	令和4年度	千葉県から提供される避難行動要支援者名簿に基づき、要支援者宅を訪問し、町内自治会の提供する支援事業を希望される方に「支え合いカード」の作成を依頼する。
	令和5年度	「支え合いカード」を基に対象者一覧表を作成し、要支援者宅を訪問する。
	中間見直し	
	令和6年度	千葉県から新しく提供される要支援者名簿に基づき、対象者の見直しを行い、再度要支援者宅を訪問する。
	令和7年度	千葉県から新しく提供される要支援者名簿に基づき、対象者の見直しを行い、再度要支援者宅を訪問する。
	令和8年度	千葉県から新しく提供される要支援者名簿に基づき、対象者の見直しを行い、再度要支援者宅を訪問する。
令和4年度の実績	幕張・武石地区部会内の各町内自治会において、災害時要支援者の支援体制を構築することができた。	
今後の課題と方針	支援体制構築後は、支援体制の充実・強化を図るための研修会や訓練などを実施する。	
令和4年度達成状況の自己評価	○	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 幕張・武石 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	⑧	・認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座の開催や声かけ訓練などを実施します。
取組内容 (5カ年の目標)	担い手のステップアップを目的に、介護予防や認知症予防のための様々な講座を毎年開催し、地域での支援体制を構築する。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	幕張武石地区部会(幕張町六丁目町内会、武石町一丁目町内会、武石町二丁目町内会)	
現状と課題	地区部会の部員のみを対象とした講座は現在も行っているが、地域の方も共に参加し学べる講座の開催を今後は検討していく。	
年次目標	令和4年度	地区部会研修として、認知症サポーター養成講座を開催し、部員の認知症に関する理解を深め、ステップアップを図る。
	令和5年度	介護予防や認知症予防のための講座を、地域の人を含め開催する。
	中間見直し	
	令和6年度	関係機関と連携を図りながら、会員相互のステップアップのための講座を開催する。
	令和7年度	関係機関と連携を図りながら、会員相互のステップアップのための講座を開催する。
	令和8年度	関係機関と連携を図りながら、会員相互のステップアップのための講座を開催する。

令和4年度の実績	認知症サポーター養成講座を開催し、部員の認知症に対する理解を深め、一人一人のステップアップを図ることができた。	
今後の課題と方針	高齢者の増加とともに、認知症の増加していく社会において、介護予防や認知症予防のための講座等の開催について、地域住民の参加も含め開催する。	
令和4年度達成状況の自己評価	○	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 花見川 地区部会エリア

基本方針	1	心身の健康と交流の場づくり
取り組みの方向性	(1)	居場所・仲間づくり
具体的な取り組み	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロン、散歩クラブ、健康体操、ふれあい食事サービスなどを実施します。</li> <li>・子育てサロン、こども食堂、こどもカフェなどを実施します。</li> <li>・要支援者(認知症高齢者・要介護者・障害者)やその家族が集える場づくりを行います。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)		①ふれあい3事業(いきいきサロン、散歩クラブ、子育てサロン)の活性化を図る。85サークル(令和3年度)を100サークル(令和8年度)に増やす。 ②町内自治会子ども会の行事を地域全体の行事に拡大する。
活動主体 (連携、協働機関・団体)		花見川地区部会(各町内自治会、地区内サークル、子ども会、花見川区健康課、第211地区民生委員・児童委員協議会、花見川いきいきプラザ、あんしんケアセンター)
現状と課題		地域住民の高齢化と町内自治会の弱体化で、サークル会員数の減少がみられる。 ①いままで順調に増えてきたが、減少も懸念される。 ②少子化による町内自治会内子ども会の衰退。
年次目標	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい3事業を85サークル</li> <li>・敬老会の開催、地区子ども会行事の開催</li> </ul>
	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい3事業を85サークル</li> <li>・敬老会の開催、地区子ども会行事の開催</li> </ul>
	中間見直し	
	令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい3事業を90サークル</li> <li>・敬老会の開催、福祉バザーの開催、地区子ども会行事の開催</li> </ul>
	令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい3事業を95サークル</li> <li>・敬老会の開催、福祉バザーの開催、地区子ども会行事の開催</li> </ul>
	令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい3事業を100サークル</li> <li>・敬老会の開催、福祉バザーの開催、地区子ども会行事の開催</li> </ul>
令和4年度の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい3事業は登録85で、コロナ禍の中、活動は第3四半期で67サークルとなっている。</li> <li>・敬老会は柏井小学校区6町内自治会(合同)とソレイユ鷹の台自治会の2会場で273名の出席で実施した。</li> <li>・子ども会は柏井小学校区で「みんなで歩いてビンゴ」106名の参加で実施した。</li> </ul>
今後の課題と方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい3事業は休眠サークルの実働推進。</li> <li>・高齢化等による消極化をどのように積極的に仕向けるか。全世代に共通する課題である。</li> </ul>
令和4年度達成状況の自己評価	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 花見川 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者等への見守り活動・安否確認活動を実施したり、緊急通報装置や安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。</li> <li>・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組みます。また、その充実・強化を図ります。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)	<p>独居及び高齢者世帯への見守り活動の拡大。</p> <p>①第4期計画までの鷹の台自治会での見守り対象人数の向上を図る(令和3年度 23人を令和8年度 50人に)。</p> <p>②鷹の台自治会以外の町内自治会の活動促進を図る。</p>	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	花見川地区部会(鷹の台自治会、千代の台自治会、花見川住宅自治会、第211地区民生委員・児童委員協議会、あんしんケアセンター ほか)	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17町内自治会中、2町内自治会が見守り活動を実施しており、その他民生委員主体による見守り、隣近所での見守りなど、自主的な活動もあるが、見える化が困難である。</li> <li>・個人情報保護法の観点からも考慮の要あり。</li> <li>・対象者から健康で必要ないと拒否されることもある。</li> </ul>	
年次目標	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鷹の台25人、千代の台30箇所</li> <li>・地域ケア会議の開催。</li> </ul>
	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鷹の台30人、千代の台(独居、高齢世帯)</li> <li>・地域ケア会議の開催。</li> </ul>
	中間見直し	
	令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鷹の台35人、千代の台(独居、高齢世帯)</li> <li>・地域ケア会議の開催。</li> </ul>
	令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鷹の台40人、千代の台(独居、高齢世帯)</li> <li>・地域ケア会議の開催。</li> </ul>
	令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鷹の台50人、千代の台(独居、高齢世帯)</li> <li>・地域ケア会議の開催。</li> </ul>
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鷹の台自治会第4 四半期 20人、千代の台自治会 30箇所</li> <li>・鷹の台の対象者減について、見直しの要あり。</li> <li>・あんしんケアセンターを中心に鷹の台自治会、民生委員、社協区事務所による地域ケア会議を開催した(8月、12月、3月)。</li> </ul>	
今後の課題と方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進展に伴い、きめ細やかなケアが大切になる。そのためにも、見守り対象者との日頃の情報の交換がより大切になってくる。</li> <li>・地域ケア会議の開催の働きかけを行う。</li> </ul>	
令和4年度達成状況の自己評価	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 花見川 地区部会エリア

基本方針	4	安全・安心なまちづくり
取り組みの方向性	(9)	身近な災害への備え
具体的な取り組み	⑮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を実施します。</li> <li>・避難所開設・運営訓練を実施します。</li> <li>・新型コロナウイルス等感染症に対応した避難所運営委員会マニュアルの見直しを行います。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)	防災活動を推進するとともに、各避難所の開設、運営マニュアルの見直し、更新を行う。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	地区部会内避難所運営委員会(5ヶ所) 各町内自治会(各関係機関)	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営マニュアルの更新は、2箇所で実施。</li> <li>・防災活動(平時パトロール、歳末パトロール、防災訓練、研修会参加など)は6地域で実施。</li> <li>・未実施地区への呼びかけが課題である。</li> </ul>	
年次目標	令和4年度	避難所運営マニュアルの更新。防災活動の実施。
	令和5年度	避難所運営マニュアルの更新。防災活動の実施。
	中間見直し	
	令和6年度	避難所運営マニュアルの更新。防災活動の実施。
	令和7年度	避難所運営マニュアルの更新。防災活動の実施。
	令和8年度	避難所運営マニュアルの更新。防災活動の実施。
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営マニュアルは更新なし(一部自治会で更新)。</li> <li>・防犯・防災訓練の実施 花見川住宅自治会(11月)、鷹の台自治会(1月)、新鷹の台第二自治会(2月)</li> <li>・パトロール(平時・歳末)は4自治会で実施</li> </ul>	
今後の課題と方針	避難所運営委員会の見直し。	
令和4年度達成状況の自己評価	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 花見川第2 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者等への見守り活動・安否確認活動を実施したり、緊急通報装置や安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。</li> <li>・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組みます。また、その充実・強化を図ります。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)	花見川団地内で実施している支え合い活動を継続実施するとともに、地域全体に活動の機運が広まるよう、広報啓発活動に努める。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	花見川第2地区部会	
現状と課題	・地域全体が高齢化しているため、担い手不足が深刻化している。	
年次目標	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い活動の継続実施</li> <li>・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。</li> </ul>
	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い活動の継続実施</li> <li>・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。</li> </ul>
	中間見直し	
	令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い活動の継続実施</li> <li>・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。</li> </ul>
	令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い活動の継続実施</li> <li>・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。</li> </ul>
	令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い活動の継続実施</li> <li>・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。</li> </ul>
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花見川団地内で実施している支え合い活動「はんど はんど」を継続実施した。令和4年度の実績(令和5年1月まで)は、65件、133時間。主な活動は、掃除、家具の移動、病院の付き添い、家事援助などであった。</li> <li>・令和4年度は、自治会の事務局ニュース等を通じ、活動の普及・啓発に努めた。</li> </ul>	
今後の課題と方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体が高齢化しているため、担い手不足が深刻化している。</li> <li>・花見川団地以外の地域への活動普及が進まない。</li> <li>・花見川団地内の支え合い活動を継続するとともに、地域全体に活動の機運が広まるよう、引き続き広報啓発活動に努める。</li> </ul>	
令和4年度達成状況の自己評価	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 花見川第2 地区部会エリア

基本方針	3	地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり
取り組みの方向性	(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成
具体的な取り組み	⑪	・地域での声かけをしたり、地域でのイベント、広報紙(地区部会だより)、区ボランティアセンターを活用し、ボランティアの発掘や育成に努めます。
取組内容 (5カ年の目標)	生活支援活動の強化・継続のため、新たな担い手の育成・獲得に努め、担い手不足の解消を努める。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	花見川第2地区部会	
現状と課題	<p>・支え合い活動を実施しているが、地域全体が高齢化しているため、担い手不足が深刻化している。</p> <p>・今後の活動継続にも影響があるため、新たな担い手確保の検討が必要である。</p>	
年次目標	令和4年度	<p>・養成講座を開催し、新たな担い手の育成・確保に努める。</p> <p>・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。</p>
	令和5年度	<p>・養成講座を開催し、新たな担い手の育成・確保に努める。</p> <p>・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。</p>
	中間見直し	
	令和6年度	<p>・養成講座を開催し、新たな担い手の育成・確保に努める。</p> <p>・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。</p>
	令和7年度	<p>・養成講座を開催し、新たな担い手の育成・確保に努める。</p> <p>・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。</p>
	令和8年度	<p>・養成講座を開催し、新たな担い手の育成・確保に努める。</p> <p>・広報紙等を通じて、広報啓発に努める。</p>

令和4年度の実績	コロナ禍で、養成講座は開催できなかったが、自治会の「事務局ニュース」等を通じ、ボランティアの発掘に努めた。	
今後の課題と方針	今年度は、敬老会など地域のイベントも再開しており、次年度の養成講座開催を目指し、引き続き検討を行っていく。	
令和4年度達成状況の自己評価	△	<p>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</p> <p>○:年度目標が概ね達成できた場合</p> <p>△:年度目標の一部が達成できた場合</p> <p>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</p>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 花見川第2 地区部会エリア

基本方針	3	地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり
取り組みの方向性	(7)	学習の場や体験の場の創出
具体的な取り組み	⑬	・地域住民やこどもに地域の魅力や福祉をテーマとした研修・講座を開催します。 ・地域住民やこどもに地域福祉活動の体験の場を提供します。
取組内容 (5カ年の目標)	花見川団地内やその近隣で、学校が終わった後の放課後や学校が休みの時に子どもたちが気軽に立ち寄れる子どもたちの居場所の創出を目指す。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	花見川第2地区部会、第213地区民生委員・児童委員協議会	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体が高齢化しているため、担い手不足が深刻化している。</li> <li>・団地内住民の高齢化も進んでおり、子どもたちの居場所が減っている。</li> <li>・外国人の住民が急速に増えている。</li> </ul>	
年次目標	令和4年度	・こども達の居場所の立ち上げに向けて、関係機関との調整、他地区事例の情報収集、開催場所の選定等を行う。
	令和5年度	・こども達の居場所の立ち上げに向けて、引き続き関係機関との調整、他地区事例の情報収集等を行うとともに、スタッフ同士の会合を設け、立ち上げに向けた準備を進める。
	中間見直し	
	令和6年度	・こども達の居場所を立ち上げるとともに、内容の充実に向けて調査・研究に努める。
	令和7年度	・こども達の居場所の運営を継続するとともに、内容の充実にも努める。
	令和8年度	・こども達の居場所の運営を継続するとともに、内容の充実にも努める。
令和4年度の実績	花見川団地内で、こども達の居場所づくりの検討を行っており、関係者間の会合や他地区の活動の視察を行った。開催場所までは決定し、来年度からの活動開始に向け、準備を進めていく予定である。	
今後の課題と方針	前回までの取組内容、年次目標では、講座等を開催し、次世代の担い手育成に努めるとしているが、こども達の居場所づくりを目標にし、推進していくこととしたい。	
令和4年度達成状況の自己評価	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### こてはし台 地区部会エリア

基本方針	1	心身の健康と交流の場づくり
取り組みの方向性	(1)	居場所・仲間づくり
具体的な取り組み	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロン、散歩クラブ、健康体操、ふれあい食事サービスなどを実施します。</li> <li>・子育てサロン、こども食堂、こどもカフェなどを実施します。</li> <li>・要支援者(認知症高齢者・要介護者・障害者)やその家族が集える場づくりを行います。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)		認知症、障害のある方やその家族の方が気軽に集える交流の場づくりを推進する。
活動主体 (連携、協働機関・団体)		こてはし台地区部会(あんしんケアセンターこてはし台)
現状と課題		交流の場を定例的に開催できる場所の確保に努めているが、困難な状況である。
年次目標	令和4年度	交流の場 開催場所の確保、実施内容の検討に取り組む。
	令和5年度	年度内に交流の場を開催することを目途に、具体的内容について検討する。
	中間見直し	
	令和6年度	年間、数回の交流の場を開催する。
	令和7年度	「喫茶室”つどい”」と交流の場を、同一箇所で実施することについて検討する。
	令和8年度	「喫茶室”つどい”」と交流の場を同一箇所で実施する。
令和4年度の実績	居場所の確保について、協力団体と考えを共有するための打合せを実施し、適当な場所の確保に努めた。	
今後の課題と方針	環境・費用面などで適した場所のハードルは高いが、目的を達成すべく取り組んでいく。	
令和4年度達成状況の自己評価	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### こてはし台 地区部会エリア

基本方針	1	心身の健康と交流の場づくり
取り組みの方向性	(2)	交流の場づくり
具体的な取り組み	③	・世代の違いや障害の有無を超えた交流やイベントなどを実施します。 ・高齢者施設や障害者施設などでのボランティア体験や施設主催のイベントへ参画します。
取組内容 (5カ年の目標)	高齢者ばかりではなく、高齢者も子どもたちも、いっしょに参加できる「全世代参加型」の新規事業の設立を検討する。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	こてはし台地区部会(町内自治会、スポーツ振興会)	
現状と課題	・地域の少子高齢化に伴い、次世代の担い手不足は深刻な状況である。 ・従来行われていた高齢者による企画・実施型のイベントを若い世代にも参加・実施できるような新たな内容に変え、全員参加の催し物を開催したい。	
年次目標	令和4年度	新規事業設立に向けて、まず検討委員会の組織化を検討する。
	令和5年度	具体的な事業内容を検討する。
	中間見直し	
	令和6年度	新規事業を設立し、実施する。
	令和7年度	新規事業を継続実施する。
	令和8年度	新規事業を継続実施する。

令和4年度の実績	検討委員会設立の前に、地区部会内(福祉活動推進員)で「全世代型」新規事業の検討を行った。複数の案が出され、次年度の検討委員会への提案が可能となった。	
今後の課題と方針	複数の団体がいろいろな地域の事業(イベント)を開催しているため、今後、どのような事業が求められているのか、他団体との調整が不可欠である。	
令和4年度達成状況の自己評価	△	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### こてはし台 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(4)	地域の機関・団体等との連携
具体的な取り組み	⑩	・地域福祉活動にあたり、民生委員、町内自治会、あんしんケアセンター、障害者基幹相談支援センター、学校、社会福祉事業者、企業、ボランティア団体、NPO、企業など地域の多様な主体との連携強化を図ります。
取組内容 (5カ年の目標)	あんしんケアセンターが開催する「地域ケア会議」に参加し、会議への参加を通じて「地域支え合いの街づくり」を推進する。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	こてはし地区部会(町内自治会、第206地区民生委員・児童委員協議会、あんしんケアセンター)	
現状と課題	「地域ケア会議」の議題ともなった「居宅介護利用者への訪問介護事業者の車両駐車問題」は、地域にとっても大きな問題であると捉えており、積極的な関わりや提案を行っていく。	
年次目標	令和4年度	「訪問介護事業者の車両駐車問題」の具体的な対応策について、積極的な提案を行っていく。
	令和5年度	「訪問介護事業者の車両駐車問題」対応策の実施状況の検証を提言するなど、「地域ケア会議」に積極的に参加する。
	中間見直し	
	令和6年度	引き続き「地域ケア会議」に参加するとともに、地域住民の立場から積極的な発言を行っていく。
	令和7年度	引き続き「地域ケア会議」に参加するとともに、地域住民の立場から積極的な発言を行っていく。
	令和8年度	引き続き「地域ケア会議」に参加するとともに、地域住民の立場から積極的な発言を行っていく。
令和4年度の実績	「訪問介護事業者の車両駐車問題」について、2回目の検討会が行われ、以下の具体的な解決策が決定した。 (1)訪問介護事業者の自助努力による駐車場の確保 (2)地域住民(自治会など)の理解を深めるための広報活動を行っていく 決定に際し、当会も積極的な提言を行った。	
今後の課題と方針	具体的な解決策が実行されているかを常に検証していくことが大事である。	
令和4年度達成状況の自己評価	○	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### こてはし台 地区部会エリア

基本方針	3	地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり
取り組みの方向性	(6)	地域福祉情報の発信
具体的な取り組み	⑫	・広報紙の発行やホームページ、SNS、集いの場、イベントなどでの地区部会活動や地域福祉情報を発信します。
取組内容 (5カ年の目標)	「街づくりホームページ」による情報発信と、若い世代が「住んでみたい」、「住んでよかった」と思える街づくりについて検討する。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	こてはし台地区部会(こてはし台自治会)	
現状と課題	ホームページを作成できる担当が現在1人しかおらず、1人に負担がかかっている。担当を増やし、内容の充実を図っていくことが課題である。	
年次目標	令和4年度	・ホームページ発信内容のグレードアップと発信の迅速化のため、担当者の増員を図る。 ・次世代に向けた情報収集を強化する。
	令和5年度	・情報発信の迅速化の検討を行う。 ・次世代に向けた「この街の良さ」について、町内自治会の協力も得ながら情報収集、編集を行う。
	中間見直し	
	令和6年度	・公共機関(図書館・公民館など)などの協力を得て、住民に役立つ情報を収集し、発信していく(子育て教育などの教室の情報など)。
	令和7年度	・公共機関(図書館・公民館など)などの協力を得て、住民に役立つ情報を収集し、発信していく(子育て教育などの教室の情報など)。
	令和8年度	・公共機関(図書館・公民館など)などの協力を得て、住民に役立つ情報を収集し、発信していく(子育て教育などの教室の情報など)。
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのグレードアップを目指し、担当者の増員を図ったが、増員することができなかった。</li> <li>・コロナ禍により、ホームページの内容修正が遅れたが、年度後期に着手し、修正を行った。</li> </ul>	
今後の課題と方針	・ホームページ担当者の育成強化	
令和4年度達成状況の自己評価	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 天戸中学校区 地区部会エリア

基本方針	1	心身の健康と交流の場づくり
取り組みの方向性	(1)	居場所・仲間づくり
具体的な取り組み	②	・健康や介護予防をテーマとした講習会や研修会などを開催します。
取組内容 (5カ年の目標)	地域のサロン活動の活性化と活動場所の拡大を推進する。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	天戸中学校区地区部会(花見川区健康課、あんしんケアセンター など)	
現状と課題	コロナ禍で、フレイルの進行や家に引きこもりがちになっている方が増えている。	
年次目標	令和4年度	コロナ禍のため休止状態だったサロン活動の再開を目指す。
	令和5年度	地域サロン活動の活性化と活動場所の拡大を推進する。
	中間見直し	
	令和6年度	地域サロン活動の活性化と活動場所の拡大を推進する。
	令和7年度	地域サロン活動の活性化と活動場所の拡大を推進する。
	令和8年度	地域サロン活動の活性化と活動場所の拡大を推進する。

令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は天戸中学校区地区部会で計画していた地域内のいきいきサロン3か所の活動を再開することができた。</li> <li>・地域内の2か所で、敬老祝賀会を再開することができた。</li> <li>・敬老会未開催地区の対象者から強い要望があり、「いきいきサロン」で忘年会を開催した。</li> </ul>	
今後の課題と方針	・今後もコロナの感染状況を見据えながら、活動場所の拡大・内容充実を推進する。	
令和4年度達成状況の自己評価	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 天戸中学校区 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	⑤	・既存のサロンなど身近な場所や専門機関による相談の場を設けたり、民生委員やあんしんケアセンターなどの相談先の紹介を行います。
取組内容 (5カ年の目標)	広報活動等を利用し、民児協の活動やあんしんケアセンターの存在・施策などについて、地域の方々にお知らせする取り組みを行う。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	天戸中学校区地区部会(第212地区民生委員・児童委員協議会、あんしんケアセンター)	
現状と課題	<p>・最後まで自分らしく住み慣れた地域で生活する為には、民児協委員など、地域包括ケアシステムを担う関係者との連携は必須と考える。</p> <p>・現在、民児協の委員の中に地域の方々の日常生活の相談・指導を行っていただいているが、人生の最後は、あんしんケアセンター等による包括ケアシステムによりサポートされることとなる。</p>	
年次目標	令和4年度	広報紙、ホームページ、SNS等を活用し、相談先の啓発活動や行うとともに、地区部会活動に相談機関を招き、参加の相談に対応する。
	令和5年度	広報紙、ホームページ、SNS等を活用し、相談先の啓発活動や行うとともに、地区部会活動に相談機関を招き、参加の相談に対応する。
	中間見直し	
	令和6年度	広報紙、ホームページ、SNS等を活用し、相談先の啓発活動や行うとともに、地区部会活動に相談機関を招き、参加の相談に対応する。
	令和7年度	広報紙、ホームページ、SNS等を活用し、相談先の啓発活動や行うとともに、地区部会活動に相談機関を招き、参加の相談に対応する。
	令和8年度	広報紙、ホームページ、SNS等を活用し、相談先の啓発活動や行うとともに、地区部会活動に相談機関を招き、参加の相談に対応する。
令和4年度の実績	<p>・コロナ感染症拡大の為、暫く発行を中断していた天戸中学校区地区部会の広報紙の定期発行再開と、ホームページ・メールマガジンの立ち上げを行う事ができた。</p> <p>・再開した いきいきサロン に、あんしんケアセンターやいきいきプラザ・いきいきセンターの職員を招き、参加者の相談等にも応じていただいた。</p>	
今後の課題と方針	<p>・引き続き広報紙、ホームページ、メールマガジン等を活用した啓発活動を行うとともに、メールマガジン登録者の拡大(現在 600 人→目標 3,000 人)に努める。</p>	
令和4年度達成状況の自己評価	△	<p>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</p> <p>○:年度目標が概ね達成できた場合</p> <p>△:年度目標の一部が達成できた場合</p> <p>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</p>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 天戸中学校区 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者等への見守り活動・安否確認活動を実施したり、緊急通報装置や安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。</li> <li>・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組みます。また、その充実・強化を図ります。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)	千葉市が行っている緊急通報装置や安心電話等の施策を要支援者に紹介し、普及・啓発を図る。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	天戸中学校区地区部会(第212地区民生委員・児童委員協議会)	
現状と課題	・緊急通報装置や安心電話は、とても効果的であるが、制度を知らない方も多い。	
年次目標	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員等の関係機関と連携し、要支援者が利用できる制度を紹介する。</li> <li>・地区部会活動を通じて、緊急通報装置や安心電話の普及に努める。</li> </ul>
	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員等の関係機関と連携し、要支援者が利用できる制度を紹介する。</li> <li>・地区部会活動を通じて、緊急通報装置や安心電話の普及に努める。</li> </ul>
	中間見直し	
	令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員等の関係機関と連携し、要支援者が利用できる制度を紹介する。</li> <li>・地区部会活動を通じて、緊急通報装置や安心電話の普及に努める。</li> </ul>
	令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員等の関係機関と連携し、要支援者が利用できる制度を紹介する。</li> <li>・地区部会活動を通じて、緊急通報装置や安心電話の普及に努める。</li> </ul>
	令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員等の関係機関と連携し、要支援者が利用できる制度を紹介する。</li> <li>・地区部会活動を通じて、緊急通報装置や安心電話の普及に努める。</li> </ul>
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(発災時)東日本大震災以降、各市町村に作成が義務付けられ、地縁団体・社協等が申請すれば交付される「避難行動要支援者名簿」を活用しての発災時保護計画の立案を行った。</li> <li>・(平常時)緊急通報システム設置に賛同頂いた地縁団体内の対象者に、設置の推進を行った。</li> </ul>	
今後の課題と方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発災時・平常時における支援体制の構築については、地縁団体・地域内団体等での実施拡大の推進に努める。</li> <li>・感染症拡大防止のため、在宅避難・分散避難に変わりつつある現状を、行政が各地域団体にガイドライン等を用い、指導していくことが事業推進には必須と考える。</li> </ul>	
令和4年度達成状況の自己評価	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 天戸中学校区 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	⑦	・災害時要支援者支援体制を構築します。そして、体制構築後は、体制の充実・強化を図り、研修会や訓練などを実施します。
取組内容 (5カ年の目標)	東日本大震災以後、各市町村に作成が義務付けられた避難行動要支援者名簿について、多くの地域が申請し交付を受け、発災時の要支援者保護体制の構築に貢献できるよう努める。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	天戸中学校地区部会(各避難所運営委員会、各自主防災組織)	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者名簿の地域団体との共有体制が進まない為に訓練を進めない事が当面の課題である。</li> <li>・避難所の考え方の変化、在宅避難を中心とした分散避難への移行など新しい被災者保護体制の構築が求められている。</li> </ul>	
年次目標	令和4年度	普及・啓発活動に努める。
	令和5年度	普及・啓発活動に努める。
	中間見直し	
	令和6年度	普及・啓発活動に努める。
	令和7年度	普及・啓発活動に努める。
	令和8年度	普及・啓発活動に努める。

令和4年度の実績	・コロナ感染症拡大に伴い、発災時の在宅避難・分散避難への移行に伴う地域内での指定避難施設数の拡大を行った。	
今後の課題と方針	・地域指定避難施設数の拡充と在宅避難方法の普及・啓発活動に努める。	
令和4年度達成状況の自己評価	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 天戸中学校区 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(4)	地域の機関・団体等との連携
具体的な取り組み	⑩	・地域福祉活動にあたり、民生委員、町内自治会、あんしんケアセンター、障害者基幹相談支援センター、学校、社会福祉事業者、企業、ボランティア団体、NPO、企業など地域の多様な主体との連携強化を図ります。
取組内容 (5カ年の目標)	地域福祉に見識と関心をもち・志を同じくする団体との連携強化は地域福祉の創造には必須であるため、関係づくりに努める。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	天戸中学校区地区部会	
現状と課題	地域福祉に対する考え方は団体によって異なる為、認識の共有が課題である。	
年次目標	令和4年度	地区部会活動や地域の会議等を通じて、志を同じくする関係機関との連携強化に努める。
	令和5年度	地区部会活動や地域の会議等を通じて、志を同じくする関係機関との連携強化に努める。
	中間見直し	
	令和6年度	地区部会活動や地域の会議等を通じて、志を同じくする関係機関との連携強化に努める。
	令和7年度	地区部会活動や地域の会議等を通じて、志を同じくする関係機関との連携強化に努める。
	令和8年度	地区部会活動や地域の会議等を通じて、志を同じくする関係機関との連携強化に努める。

令和4年度の実績	・今年度は、志を同じくする地縁団体等と連携した行動を行う準備に努めた。	
今後の課題と方針	・連携できる団体数の拡大を目指す。	
令和4年度達成状況の自己評価	×	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 天戸中学校区 地区部会エリア

基本方針	3	地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり
取り組みの方向性	(6)	地域福祉情報の発信
具体的な取り組み	⑫	・広報紙の発行やホームページ、SNS、集いの場、イベントなどでの地区部会活動や地域福祉情報を発信します。
取組内容 (5カ年の目標)	情報の発信は地域団体が活動を続けるために不可欠なものであることから、ホームページ・メールマガジン(域内 600 件程度登録)の運営強化や広報紙の定期発行を行う。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	天戸中学校区地区部会 福祉活動推進懇話会・福祉ネットワーク委員会	
現状と課題	コロナ禍で事業全体が縮小状態のため、活動画像・コメントの収集が困難な現状がある。	
年次目標	令和4年度	・可能な範囲で地区部会活動を再開し、地区部会活動の発信を行っていく。 ・広報紙の発行を再開する。
	令和5年度	・ホームページの更新、メールマガジンの発信、広報紙の定期発行を通じて、地区部会活動の発信を行っていく。
	中間見直し	
	令和6年度	・ホームページの更新、メールマガジンの発信、広報紙の定期発行を通じて、地区部会活動の発信を行っていく。
	令和7年度	・ホームページの更新、メールマガジンの発信、広報紙の定期発行を通じて、地区部会活動の発信を行っていく。
	令和8年度	・ホームページの更新、メールマガジンの発信、広報紙の定期発行を通じて、地区部会活動の発信を行っていく。
令和4年度の実績	・予定していた広報紙定期発行の再開とホームページの立ち上げを実施することができた。	
今後の課題と方針	・メルマガ登録者数を現在の 600 人から 3,000 人への増加を目標とし、地域で起こっている事や福祉情報の迅速な発信を行う。	
令和4年度達成状況の自己評価	○	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 天戸中学校区 地区部会エリア

基本方針	4	安全・安心なまちづくり
取り組みの方向性	(9)	身近な災害への備え
具体的な取り組み	⑮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を実施します。</li> <li>・避難所開設・運営訓練を実施します。</li> <li>・新型コロナウイルス等感染症に対応した避難所運営委員会マニュアルの見直しを行います。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)	各避難所運営委員会への協力・支援を行うとともに、地域の防災意識の向上に向けた支援を行う。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	天戸中学校区地区部会(各避難所運営委員会、各自主防災組織、市防災対策課・千葉SLなど)	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営委員会については指定避難施設毎に担当町内自治会が割り当てられている為、地区部会は補助的な協力を行う位置付けと考える。</li> <li>・運営委員会結成時から要請していた避難所への無料の公衆電話設置については各施設2回線の設置が実現したが、台数の増加・Wi-Fiの追加設置場所の見直しが必要と考える。</li> <li>・コロナ禍により避難方法についても、在宅避難を主流とした分散避難への移行しつつあり、今後は地域避難施設の新規認定が喫緊の課題と考える。</li> </ul>	
年次目標	令和4年度	避難所運営委員会への協力・支援を行う。
	令和5年度	避難所運営委員会への協力・支援を行う。
	中間見直し	
	令和6年度	避難所運営委員会への協力・支援を行う。
	令和7年度	避難所運営委員会への協力・支援を行う。
	令和8年度	避難所運営委員会への協力・支援を行う。

令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、指定避難施設に於ける開設訓練が実施されなかったため、協力実施事例がなかった。</li> </ul>	
今後の課題と方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ沈静とともに訓練が再開された指定避難施設には、地区部会として協力を行っていく。</li> <li>・避難所運営委員会の位置付け・使命を理解した上での活動の推進・組織構築が必要である。</li> </ul>	
令和4年度達成状況の自己評価	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### さつきが丘・宮野木台 地区部会エリア

基本方針	1	心身の健康と交流の場づくり
取り組みの方向性	(2)	交流の場づくり
具体的な取り組み	③	・世代の違いや障害の有無を超えた交流やイベントなどを実施します。 ・高齢者施設や障害者施設などでのボランティア体験や施設主催のイベントへ参画します。
取組内容 (5カ年の目標)	・世代の違いや、障害の有無、立場を超え、地域のすべての人々が参加できる『福祉まつり』を開催し、地域の人々が理解しあえるやさしい町づくりに努める。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	さつきが丘・宮野木地区部会	
現状と課題	・『福祉』まつり』はコロナの影響により、令和2～4年度は中止となっており、担い手のノウハウや地域に根付きつつあった参加意識が失われつつある。	
年次目標	令和4年度	・『福祉』まつり』を年1回開催し、広い世代の方に福祉に触れる機会を設ける。
	令和5年度	・『福祉』まつり』を年1回開催し、広い世代の方に福祉に触れる機会を設ける。
	中間見直し	
	令和6年度	・『福祉』まつり』を年1回開催し、広い世代の方に福祉に触れる機会を設ける。
	令和7年度	・『福祉』まつり』を年1回開催し、広い世代の方に福祉に触れる機会を設ける。
	令和8年度	・『福祉』まつり』を年1回開催し、広い世代の方に福祉に触れる機会を設ける。
令和4年度の実績	次年度の「福祉まつり」開催に向けて、当地区部会のテーマ「～あいさつで えがおあふれる やさしいまちに～」を実現すべく、12月に『あいさつキャンペーン運動』を実施した。各店舗やスーパーの前にて、チラシ、マスク、ペーパータオル、ティッシュ等を入れたファイルを配布した。	
今後の課題と方針	取組内容実現のため、あいさつキャンペーンを継続実施する。あいさつ運動により、顔見知りが増え、ユニバーサルデザインの町づくりを実現していくことで、『福祉まつり』も成功に導いていきたい。	
令和4年度達成状況の自己評価	△	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### さつきが丘・宮野木台 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	⑥	・要支援者等への見守り活動・安否確認活動の実施、緊急通報システムや安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。 ・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組みます。また、その充実・強化を図ります。
取組内容 (5カ年の目標)	当該地区部会エリア在住の高齢者・障がい者等で支援が必要な世帯を対象に「ご近所のたすけあい」活動を実施し、「ゴミ出し」、「買い物」はもとより、「蛍光灯の交換」、「病院への付き添い」等の支援活動を実施する。 また、この活動を継続させるためには、活動に従事するボランティアの確保が欠かせないことから、登録ボランティアの確保(増加)に努める。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	さつきが丘・宮野木台地区部会(ボランティア委員会が活動を統括)	
現状と課題	ここ数年、活動件数の増加は著しいが、登録ボランティア数が優っているため、特段の支障なく活動は推移している。しかしながら、今後高齢化がより一層進展することにより、支援を要請する世帯が増加する一方で、活動を支えるボランティアも高齢化が進む為、ボランティアの世代交代が円滑に進まなければ、登録ボランティアの数は、現状と比べ落ち込むことが見込まれ、活動に支障が生じることが危惧される。	
年次目標	令和4年度	「ご近所のたすけあい」活動を継続実施するとともに、ボランティア活動の周知とボランティアの確保に努める。
	令和5年度	「ご近所のたすけあい」活動を継続実施するとともに、ボランティア活動の周知とボランティアの確保に努める。
	中間見直し	
	令和6年度	「ご近所のたすけあい」活動を継続実施するとともに、ボランティア活動の周知とボランティアの確保に努める。
	令和7年度	「ご近所のたすけあい」活動を継続実施するとともに、ボランティア活動の周知とボランティアの確保に努める。
	令和8年度	「ご近所のたすけあい」活動を継続実施するとともに、ボランティア活動の周知とボランティアの確保に努める。

令和4年度の実績	「ボランティアだより」の内容をより分かりやすく、便利なものとして発行し、普及啓発活動に努めた。	
今後の課題と方針	若い世代のボランティアの確保。 地区部会内や関係団体との連携を深め、「ご近所たすけあい活動」の充実に努める。	
令和4年度達成状況の自己評価	○	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 幕張本郷中学校区 地区部会エリア

基本方針	1	心身の健康と交流の場づくり
取り組みの方向性	(1)	居場所・仲間づくり
具体的な取り組み	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロン、散歩クラブ、健康体操、ふれあい食事サービスなどを実施します。</li> <li>・子育てサロン、こども食堂、こどもカフェなどを実施します。</li> <li>・要支援者(認知症高齢者・要介護者・障害者)やその家族が集える場づくりを行います。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)	子育て世代の方々の居場所・仲間づくりの場として、子育てサロンを開催し、参加者同士の交流の促進を図るとともに、身近な子育ての先輩として育児に関する悩み事に耳を傾けるなど、サロンの内容充実に取り組む。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	幕張本郷中学校区地区部会	
現状と課題	令和3年11月付で1才育児サークル「ノンノン」が閉鎖となったことから、赤ちゃんサークルのみの活動となるため、地区部会の児童母子福祉員のみで内容の充実に取り組んでいく。	
年次目標	令和4年度	赤ちゃんサークルを年11回開催するとともに、内容の充実、従事者のスキルアップに努める。
	令和5年度	赤ちゃんサークルを年11回開催するとともに、内容の充実、従事者のスキルアップに努める。
	中間見直し	
	令和6年度	赤ちゃんサークルを年11回開催するとともに、内容の充実、従事者のスキルアップに努める。
	令和7年度	赤ちゃんサークルを年11回開催するとともに、内容の充実、従事者のスキルアップに努める。
	令和8年度	赤ちゃんサークルを年11回開催するとともに、内容の充実、従事者のスキルアップに努める。
令和4年度の実績	赤ちゃんサークルの会場である「幕張台自治会館」のコロナ禍における利用制限等の問題もあり、今年度は1度も開催することができなかった。	
今後の課題と方針	コロナの状況と会場となる「幕張台自治会館」の貸出方針によるが、今まで募集をかけると25組(50名)程の参加があったことから、会場の広さからみて、今までどおりの開催は難しい。活動再開に向けて、開催方法の見直しが必要である。	
令和4年度達成状況の自己評価	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 幕張本郷中学校区 地区部会エリア

基本方針	1	心身の健康と交流の場づくり
取り組みの方向性	(1)	居場所・仲間づくり
具体的な取り組み	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロン、散歩クラブ、健康体操、ふれあい食事サービスなどを実施します。</li> <li>・子育てサロン、こども食堂、こどもカフェなどを実施します。</li> <li>・要支援者(認知症高齢者・要介護者・障害者)やその家族が集える場づくりを行います。</li> </ul>
取組内容 (5カ年の目標)	グラウンドゴルフを介して、高齢者が戸外へ出て、人と交わる機会を作り、心身共に健康な時間を長く保てるように取り組んでいく。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	幕張本郷中学校区地区部会(ボランティア委員会、障害者福祉委員会)	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会の準備運営などを行う担い手の高齢化が進行している。</li> <li>・地区を2つに分けて隔年毎に年1回実施しているが、理想としては両地区とも年1回開催できるとよいが担い手不足の課題がある。</li> </ul>	
年次目標	令和4年度	幕張台公園にて上の台小学校地区の方々を対象に年1回グラウンドゴルフ大会を実施する。
	令和5年度	一本松公園にて西の谷小学校地区の方々を対象に年1回グラウンドゴルフ大会を実施する。
	中間見直し	
	令和6年度	幕張台公園にて上の台小学校地区の方々を対象に年1回グラウンドゴルフ大会を実施する。
	令和7年度	一本松公園にて西の谷小学校地区の方々を対象に年1回グラウンドゴルフ大会を実施する。
	令和8年度	幕張台公園にて上の台小学校地区の方々を対象に年1回グラウンドゴルフ大会を実施する。
令和4年度の実績	コロナで2年間中止となっていたグラウンドゴルフ大会であったが、今年度は 6/25(土)、3年ぶりに幕張台公園にて上の台小学校地区の方々(25名)の参加により開催することができた。	
今後の課題と方針	現在は、上の台小学校地区と西の谷小学校地区の方を対象に、1年交代で大会を行っているが、理想としては両地区で毎年実施したい。しかし、担い手不足の課題が大きい。	
令和4年度達成状況の自己評価	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 幕張本郷中学校区 地区部会エリア

基本方針	1	心身の健康と交流の場づくり
取り組みの方向性	(1)	居場所・仲間づくり
具体的な取り組み	②	・健康や介護予防をテーマとした講習会や研修会などを開催します。
取組内容 (5カ年の目標)	高齢者の心身両面の健康を支えるため、体を動かすことを主とした「チャレンジ運動講習会」と音楽によるセラピーを目指す「音楽の集い」を隔年毎に公民館で行う。	
活動主体 (連携、協働機関・団体)	幕張本郷中学校区地区部会 ボランティア員会・障害者福祉委員会	
現状と課題	概ね好評で参加者も30～50名の参加があるため、継続実施していきたいが、専門職の手配に課題がある。	
年次目標	令和4年度	「音楽の集い(音楽療法士セラピストによる)」を年1回実施する。
	令和5年度	「音楽の集い(音楽療法士セラピストによる)」を年1回実施する。
	中間見直し	
	令和6年度	「チャレンジ運動講習会(トレーナーによる)」を年1回実施する。
	令和7年度	「音楽の集い(音楽療法士セラピストによる)」を年1回実施する。
	令和8年度	「チャレンジ運動講習会(トレーナーによる)」を年1回実施する。
令和4年度の実績	令和4年度の目標としては、「音楽の集い(音楽療法士セラピストによる)」を年1回実施するとしていたが、コロナのため、中止とした。	
今後の課題と方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの感染状況にもよるが、来年度の開催に向け、準備を進めていく。</li> <li>・音楽療法士があまりいなく、現在お願いしている講師がダメになった場合に、開催が危ぶまれる。</li> </ul>	
令和4年度達成状況の自己評価	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎:年度目標以上のものが達成できた場合</li> <li>○:年度目標が概ね達成できた場合</li> <li>△:年度目標の一部が達成できた場合</li> <li>×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)</li> </ul>

## 第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況(令和4年度)

### 畑 地区部会エリア

基本方針	2	支え合い、助け合いのできる地域社会づくり
取り組みの方向性	(3)	地域での支援体制構築
具体的な取り組み	⑥	・要支援者等への見守り活動・安否確認活動を実施したり、緊急通報装置や安心電話の設置の普及を図ります。また、その充実・強化を図ります。 ・要支援者等への生活支援のための活動(買い物、ゴミだし、外出支援等)に取り組みます。また、その充実・強化を図ります。
取組内容 (5カ年の目標)		・朝のごみ出し支援活動(独居高齢者限定)を継続実施する。 ・畑町ガーデンの送迎車を活用した買物支援事業を実施する。
活動主体 (連携、協働機関・団体)		畑地区部会
現状と課題		・朝のゴミ出し支援は、今のところ利用者がいない状況である。 ・畑町ガーデンの送迎車を活用した買物支援事業は、令和元年度に1度試行運行を実施しているが、その後コロナの影響で進行していない。
年次目標	令和4年度	・朝のゴミ出し支援活動を継続するとともに、広報活動に努める。 ・畑町ガーデンの送迎車を利用した買物支援事業の定期運行に向けた検討を行う。
	令和5年度	・朝のゴミ出し支援活動を継続するとともに、広報活動に努める。 ・畑町ガーデンの送迎車を利用した買物支援事業の試行運行を実施する。
	中間見直し	
	令和6年度	・朝のゴミ出し支援活動を継続するとともに、広報活動に努める。 ・畑町ガーデンの送迎車を利用した買物支援事業の定期運行を開始する。
	令和7年度	・朝のゴミ出し支援活動を継続するとともに、広報活動に努める。 ・畑町ガーデンの送迎車を利用した買物支援事業を継続実施する。
	令和8年度	・朝のゴミ出し支援活動を継続するとともに、広報活動に努める。 ・畑町ガーデンの送迎車を利用した買物支援事業を継続実施する。
令和4年度の実績		・朝のゴミ出し支援については、受入は行っているものの、希望者がいない状況が続いている。 ・畑町ガーデンの送迎車を利用した買物支援事業は、コロナ禍のため、今年度も進展がなかった。
今後の課題と方針		・朝のゴミ出し支援は、民生委員を通じて高齢者への声掛けを行い、普及啓発に努めていく。 ・畑町ガーデンの送迎車を利用した買物支援事業については、コロナの感染状況にもよるが、運行再開に向け、畑町ガーデン等の関係団体と協議を行っていく。
令和4年度達成状況の自己評価	△	◎:年度目標以上のものが達成できた場合 ○:年度目標が概ね達成できた場合 △:年度目標の一部が達成できた場合 ×:年度目標が全く達成できなかった場合(ほとんど達成できなかった場合も含)

## あんしんケアセンターの取組み事例(令和4年度)

### あんしんケアセンター花見川

<p>令和4年度の実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんしんケアセンター花見川においては、花見川中学校地区と天戸中学校地区が担当エリアとなっている。</li> <li>・令和4年7月より、第2層生活支援コーディネーター(以下「第2層 SC」)が配置。第2層 SCを中心に、コロナ禍においても可能な限り、地域との連携を図った。</li> <li>・第2層 SC が地域資源の調査を実施(約 30 団体)、調査結果は千葉市の「生活支援サイト」を通じて公表されている。</li> <li>・第2層 SC がコープ花見川の地域貢献活動に協力を実施、現在コープ花見川2階のスペースを活用したシニアリーダー教室(参加対象:地域住民)の立ち上げに向けた支援を継続中。</li> <li>・コロナ禍によって、地域活動の一部に制限がある状況の中、当センターの活動例として、まずシニアリーダー体操教室やサロンなどの活動を行っている団体への訪問を行った。また、地域活動再開のメドが立っていない諸団体に対して、再開促進や新規立ち上げの支援にも関わっている。</li> <li>・広報誌を毎月発行し、体操教室やサロン等で配布。また、いきいきセンターや自治会などへも配架し、あんしんケアセンター周知の為の継続的な取り組みを行っている。また、体操教室やサロン等に訪問した際、参加者からの相談等にも対応している。</li> </ul> <p>【主な訪問先】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地蔵作いきいきサロン ・貝塚いきいきサロン ・門原いきいきサロン</li> <li>・はつらつ元気教室 ・シニアリーダー長作 ・シニアリーダー花見川 ・楽々体操教室</li> <li>・健康相談フェスティバル ・ストレッチ教室 ・金曜クラブ ・いこいの集いなど</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区民生委員、社協・行政・UR に参加を呼びかけ、花見川団地の地域ケア会議を開催。団地内の課題や地域の見守り活動についての話し合いを行った。また、相談対応事例を基にした話し合いも実施した(6月、9月、12月、3月の年4回実施)。</li> <li>3月開催予定の地域ケア会議では、高齢の両親と同居されている障害者や生活困窮者の相談等、団地内での多様化・複雑化している諸問題を議題としていることから、生活自立仕事・相談センター花見川と花見川障害者基幹相談支援センターへも参加を呼びかけ、参加予定となっている。</li> <li>・令和4年度は民児協定例会へ7回参加し、あんしんケアセンターの活動報告、圏域の高齢化率、相談件数の報告の他、介護保険制度と生活支援コーディネーターについてのミニ講座等を行った。213 地区民児協については、要支援者の地域での見守り支援を強化する目的にて令和5年1月より毎月定例会へ参加し、圏域内の相談状況と傾向について民生委員と共通理解を図っている。</li> <li>・認知症サポーター養成講座</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①さくら会(花見川団地内の老人会)から要請があり、令和4年7月に実施。27名の地域の方が参加された。</li> <li>②ALSOK 千葉株式会社で令和4年8月、2回開催し、63名の警備会社職員が参加した(興味を持ってもらえるか不安はあったが、事後アンケートから概ね良好の感想を確認できた)。</li> <li>③作新小学校で令和4年12月19日にキッズ認サポを開催している。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきセンターより高齢者講演会の依頼を受け、令和5年1月に介護保険、老人ホーム、通いや宿泊サービスをテーマにして実施(定員25名のところ31名が参加)。</li> </ul>
-----------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UR より講演会の依頼があり、令和5年2月にあんしんケアセンターの紹介、介護予防活動の取組み紹介、介護予防体操を実施している。</li> <li>・圏域の中でも遠方の地区との関わりについては、地域を絞り、毎月関係者と会う機会を設け、広報誌の配架、緊急通報装置や地区の要援護者リスト作りの情報提供等と併せてあんしんケアセンターの周知活動を行った。</li> <li>・センター前の広場を利用し、平日の毎朝ラジオ体操を実施。地域の方々約 2200 名(令和4年4月～令和5年2月)が参加している。</li> </ul>
<p>今後の課題と方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、第2層 SC を中心に、地域との連携を図る。</li> <li>・サロンやシニアリーダー体操教室など、地域の集いの場に訪問するとともに、参加者の相談等にも応じていく。</li> <li>・花見川団地の地域ケア会議を継続し、地域課題を抽出し解決策を練る。</li> <li>・地域のイベントや会合等に参加し、地域との連携を図る。</li> </ul>